

## 海外ビジネスに奮闘する人たちにエールを

日本が世界で存在感を取り戻すために大事なことは、豊富な海外ビジネス経験をもち、今も数多くの海外赴任前研修や講演会などで講師を務める平沢健一さんに、新刊書『これからのグローバルビジネスの教科書』に込めた思いを語ってもらった。

G&C(グローバル&チャイナ)ビジネスコンサルタント  
代表 平沢健一さん

——平沢さんは米国、欧州、中国の現地法人経営に20年間携わったほか、56カ国をビジネスで訪れたという国際人だ。だが、入社して最初の13年間は国内担当の営業社員として、北海道から沖縄まで駆け巡る日々を送っていた。

日本全国に足を運びそれなりに苦勞もしてきたので、初めての海外とはいえ自信はありました。ところが、そんな甘いものではなかった。

1982年、全く英語ができないまま赴任前教育もなくニューヨークに赴任。最初の頃は言葉も通じず毎日がもがきと憔悴、まさに絶望からのスタートでした。でも、とにかく行動しようと決めて、アメリカ全土の拠点を1人で6カ月かけて回りました。行く先々で現地スタッフに積極的に話しかけようと心がけました。苦手意識を捨てて、文法無視でいい、恥はドンマイ、大きなジェスチャーを交えてとにかく話そう。すると、少しずつですが英語が分かり、通じるようになってきました。

アメリカでの経験がその後、イタリア、イギリス、そして中国でも大いに役立ったことは言うまでもありません。もちろん、だまされたり、脅されたり、金払いの悪い客に困らされたり。文化の衝突やけんかも。それでも、先輩から教わった「フランクに表現」「フランクに交流」を素直に実行してきたことで、どこでも大勢の

信頼できる友人ができました。

——10のCで始まる合言葉で世界に挑戦しようとする。10のCとは、①Crisis(Sense of Crisis、危機感)、②Culture(文化)、③Curiosity(好奇心)、④Creativity(創造性)、⑤Communication(コミュニケーション)、⑥Clearness(分かりやすさ)、⑦Courteousness(礼儀正しさ)、⑧Collaboration(協力)、⑨Confidence(自信)、⑩Change(変革)。いずれも世界でビジネスを行う上で不可欠だという。

「まるドメ」(まるでドメスティック)、つまり国内志向で海外嫌い、その上「ガラパゴス」、日本だけに通じる独自規格に安住しては、「ゆでガエル」になってしまうのです。徐々に温まる湯の中は居心地がいいけど、そのまま死んでしまう。中国はじめアジア新興国のビジネスパーソンは、危機感とハングリー精神が半端ではないと感じています。私たちに必要なのは、「まるドメ、ガラパゴス、ゆでガエルよさらば!」です。

その上で大事なことは、日本人の優れた財産を決して忘れてはならないということ。海外の友人たちと会うと、最近日本人は元気がなく自信をなくしていると言われます。私自身も長く海外生活をしてきただけに、静かになった日本が心配です。でも、日本人は礼儀正しさをはじめ10のCのうちの多くをすでに優れた財産と

してもっているのです。昔から海外の技術や文化を柔軟に受容し、創造性と工夫、勤勉さで新しい価値を生み出し続けてきたではありませんか。低い経済成長、少子高齢化、新興国の追い上げなど日本を取り巻く状況は厳しいかもしれませんが、それでも、日本のビジネスパーソンには自信をもって変化に挑んでほしいと思います。

——本書では、著名な経営者が登場し、「グローバルビジネス成功の要諦」について語っている。

中国大使を務めた丹羽宇一郎氏(元 伊藤忠商事(株)社長・会長)、(株)people firstの八木洋介氏(前(株)LIXIL 副社長)、キャノン(株)副社長・小澤秀樹氏だ。

皆さん長年の尊敬する友人で、「グローバルビジネス成功の要諦」について、率直に話してくださいました。

丹羽宇一郎氏はリベラルアーツの重要性。目の試験のためのような勉強ではなく、本質を極める思いで学ぶこと。そして、ハングリー精神、「このままいたら日本は沈没する」とまて言っておられました。

八木洋介氏はコミュニケーション力、そして意思決定や行動の軸をもつことだと。中国ビジネスに詳しい小澤秀樹氏はコミュニケーションのポイントとして、まず行動、メンツを捨てる、挨拶と感謝、身だしなみ、日本をしっかりと知っておくことなどを強調されました。



(ひらさわ・けんいち)  
日本ビクター(JVC)入社、国内営業課長の後ニューヨーク営業所長、JVCイタリア社長、欧州副本部長、理事中国本部長等を歴任。アジア立志塾代表、日中関係学会顧問等を務める。主な著書に、『中国ビジネス超入門』(2011、産業能率大学出版部)、『グローバルビジネス士魂商才』(14、トランスエージェント)、『アジアビジネス成功への道』(16、産業能率大学出版部)など。

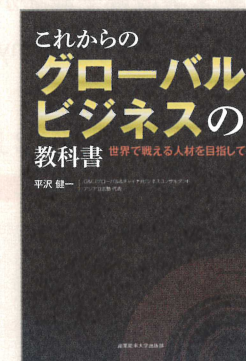
皆さん共通するのは、若い人たちに世界で活躍してほしいとの熱い期待です。

——平沢さんは、海外ビジネスに奮闘する人たちにエールを送り続ける。

よく言われている「悪夢のシナリオ」や「嘆き節」をいくら繰り返してもどうなるものでもありません。結果を出す人は目を輝かせ、胸を張り、大きな声を出す。世界に飛び出していきましょう。世界は日本を待っています。

価値観の違う外国人の中に飛び込んで渡り合うのは、初めは苦しいかもしれませんが、でも、そこを乗り越えたら楽しいことがあるのが海外ビジネスです。

これからも、世界の変化を見極めながら、日本、日本企業、日本人はどうしたらいいか、どうあるべきか客観的に提言できるよう、刻苦励んでいこうと思います。



『これからのグローバルビジネスの教科書 世界で戦える人材を目指して』

■ 平沢健一 著  
■ 産業能率大学出版部 (ISBN 978-4-382-05777-7)  
1,800円+税 / 2019年11月刊

● 読者プレゼント

平沢健一さんの著書『これからのグローバルビジネスの教科書 世界で戦える人材を目指して』(産業能率大学出版部)を3人にプレゼント。希望される方は、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記の上、はがきで応募してください。

宛先: 〒104-0031 東京都中央区京橋3-13-10 中島ゴールドビル7階  
一般社団法人日本在外企業協会 広報部「書籍プレゼント」係

締切: 1月21日(火) ※当日消印有効。当選者の発表は、書籍の発送をもって代えさせていただきます。